

## 令和5年度 学校教育自己診断票

大阪府立桃谷高等学校 通信制の課程

回答数 45 (98%)

よくあてはまる場合は「4」、ややあてはまる場合は「3」、あまりあてはまらない場合は「2」、まったくあてはまらない場合は「1」を回答欄に記入してください。

(参考)R4

No.	診断内容	平均 (4点満点)	肯定的評価 (%)	平均 (4点満点)	肯定的評価 (%)
1	本校の教育活動や教育課程などについて、教職員で日常的によく話し合っている。	2.93	71.1	3.02	80.0
2	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	2.44	42.2	2.58	57.8
3	本校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いによく応えている。	2.98	75.6	3.09	86.7
4	到達度の低い生徒に対する学習指導を、個に応じた観点で工夫して行っている。	2.82	64.4	3.02	82.2
5	レポートは生徒一人で自力で完成できる内容となっている。	3.42	93.3	3.44	93.3
6	レポートの添削は生徒の学習の理解を深めるのに役立っていると思う。	3.13	82.2	3.31	93.3
7	生徒のレベルに応じたわかりやすいスクーリング内容となっている。	3.11	88.9	3.38	93.3
8	コンピュータ等の情報機器を各教科のスクーリング等で活用している。	2.98	75.6	2.98	73.3
9	教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	2.60	55.6	2.64	62.2
10	この学校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒(生活)指導を行っている。	2.82	66.7	2.98	75.6
11	教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	3.04	75.6	3.27	88.9
12	生徒指導において、家庭、及び関係諸機関との緊密な連携がとれている。	2.53	53.3	2.73	66.7
13	生徒一人一人が興味・関心、適性に応じて進路選択できるよう、きめ細かい指導を行っている。	2.76	62.2	2.98	77.8
14	学校行事は生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	3.00	75.6	3.04	75.6
15	本校の教育活動は、人権問題を正しく理解し、差別や偏見のない社会をめざす生き方につながるものとなっている。	3.02	80.0	3.25	84.1
16	本校の教育活動は、在日外国人に対する差別や偏見のない社会をめざし、自らの生き方につながるものとなっている。	3.07	84.4	3.16	84.1
17	本校の教育活動は、障がい者に対する差別や偏見を許さない社会の一員となることができるものとなっている。	3.04	80.0	3.16	79.5
18	本校の教育活動は、男女共生の考え方に基づく社会を築く資質を養うものとなっている。	3.00	82.2	2.98	75.0
19	本校教育活動は、DVやセクシュアル・ハラスメント等各ハラスメントの防止につながるものとなっている。	3.00	80.0	2.93	72.7
20	校長は自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている。	2.38	44.4	2.73	68.2
21	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。	1.98	24.4	2.50	56.8
22	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	2.22	40.0	2.39	54.5
23	新たな分掌の創設や校務分掌再編の必要性を感じる。	3.13	75.6	3.07	70.5
24	職員会議をはじめ各種会議が情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	2.11	35.6	2.39	40.9
25	日々の教育活動における問題や悩みについて、気軽に話し合えるような人間関係が職場に存在する。	2.82	64.4	2.89	70.5
26	教職員の服務規律への自覚が高い。	2.82	68.9	2.91	75.0
27	災害や突発的な事件、事故等に対して組織的に迅速かつ適切な対処ができるようになっている。	2.31	42.2	2.68	65.9
28	生徒の生活の場としてのゆとりと潤いのある教育環境が整備されている。	2.71	64.4	2.84	75.0
29	施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。	2.64	57.8	2.75	65.9
30	校内研修は、本校の教育課題に対応している。	2.53	53.3	2.84	72.7
31	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制が取られている。	2.67	60.0	2.95	75.0
32	教員の間で、スクーリング方法等について検討する機会を積極的にもっている。	2.98	73.3	2.91	70.5
33	校外研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。	3.20	88.9	3.16	86.4
34	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	2.80	73.3	3.00	84.1
35	主体的に学習に取り組む生徒の育成について、教員がよく話し合っている。	2.58	53.3	2.61	63.6